

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	小児看護概論Ⅰ
講師名	桐生 晶子	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1単位 (30時間)	開講年次	1年次 後期
<p>目的：小児及び家族の特徴と小児看護の概念、役割と機能を理解する。</p> <p>目標：1)小児期のライフサイクルの区分と各期の特徴（身体的・心理的・社会的特徴）を理解し、小児看護の対象理解を深めることができる。</p> <p>2) 子どもが取り巻く社会環境を理解し、健康な子どもが育つ環境について理解できる。</p> <p>3) 子どもの発達段階に応じた日常生活の世話と成長発達を支える支援を理解できる。</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護の特徴と理念</li> <li>・小児医療及び小児看護の変遷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとは</li> <li>・小児看護の対象とは</li> <li>・小児看護の目的</li> <li>・小児看護の歴史</li> <li>・小児看護の人権と倫理的配慮</li> </ul>
2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児と家族の諸統計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生と家族</li> <li>・子どもの死亡</li> <li>・小児を取り巻く課題</li> </ul>
3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長発達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長発達の一般原則</li> <li>・成長発達の影響因子</li> <li>・発達課題と発達理論</li> </ul>
4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長・発達のアセスメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形態的成長と機能的発達評価</li> <li>・身体発育の影響因子</li> <li>・指標を用いた評価（カウプ ローレル指数）</li> <li>・発達検査</li> <li>・心理社会的発達評価</li> <li>・自己の成育歴を振り返る（母子健康手帳）</li> </ul>
5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児・乳児期にある子どもの成長発達と生活支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児期、乳幼児の子どもの特徴</li> <li>・新生児、乳児の養育と看護</li> <li>・母乳栄養</li> <li>・新生児マススクリーニング</li> </ul>
6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期にある子どもの成長発達と生活支援 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の子どもの特徴</li> <li>・基本的習慣の獲得 食事（離乳食） 排泄 睡眠 清潔 着脱</li> </ul>

7	2	・幼児期にある子どもの成長発達と生活支援2	環境 遊び ・幼児期の養育と看護 ・子どもの安全と事故防止 ・予防接種
8	2	・学童期にある子どもの成長発達と生活支援	・学童期の子どもの特徴 ・学童期を取り巻く緒環境 ・学童期の養育と看護 ・学校保健 不登校 ひきこもり
9	2	・思春期・青年期にある人々の成長発達と生活支援	・思春期の子どもの特徴 ・思春期によくみられる健康問題と看護
10	2	・子どもと家族	・子どもにとっての家族とは ・家族の特徴とアセスメント
11	2	・病気や入院が子どもに与える影響と看護	・子どもの病気の理解 ・ストレスと子どもの対応機制 ・病気や障害をもつ子どもと家族への看護
12	2	・子どもと家族を取り巻く社会	・児童福祉法 ・母子保健 ・医療費支援 ・臓器移植 ・医療的ケア児/ヤングケアラー/ 災害時の子どもと家族への看護
13	4	・子どもとあそび	・小児各期の発達に合わせた遊び ・創作玩具の発表
14			
15	2	単位認定試験	筆記試験
講義方法		(講義 24 時間, 演習 4 時間)	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 70 点 課題レポート 30 点	
テキスト		1) 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学①第 14 版 医学書院 2020 2) 公衆衛生がみえる 2020-2021 メディックメディア	

	<p><b>【参考文献】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 監修筒井真優美 編集江本リナ 川名るり 小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版 日総研 2017</li> <li>2) 市江和子 古川亮子編著 母性・小児実習ぜんぶガイド プチナース 照林社 2018</li> <li>3) 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院 2018</li> <li>4) 舟島なをみ 望月美知代 看護のための人間発達学 第5版 医学書院 2017</li> <li>5) 監修 馬場一雄 編集 原田研介 新版 小児生理学 へるす出版 2009</li> <li>6) 国民衛生の動向 2020/2021 厚生労働統計協会 平成30年</li> </ol>
<b>備考</b>	<p>事前準備：母子健康手帳を準備すること</p> <p>事前課題：課題1 「子どもの定義」と「大人の定義」の自己の考え (800字以内)</p> <p>課題2 NHK「おかあさんといっしょ」「いないいないばあ」視聴し 感想をまとめる(600字以内)</p> <p>A4サイズ 初講時レポート提出</p>